

ゼロカーボンミーティング in 長野



長野県PRキャラクター「アルクマ」
©長野県アルクマ

話題提供者の紹介

ちの つねひで 茅野 恒秀 さん

信州大学人文学部准教授
同グリーン社会協創機構
地域カーボンニュートラル
推進部門長

経歴 1978年東京生まれ。父祖の地が諏訪・霧ヶ峰の麓にあり、幼少期から信州を「田舎」として育つ。博士(政策科学)。専門は環境社会学、環境エネルギー政策。法政大学大学院で学び、日本自然保護協会勤務、岩手県立大学准教授を経て現職。長野県ゼロカーボン戦略の策定に専門委員として関わったほか、長野県地域と調和した再生エネ事業の推進に関する専門委員、安曇野市里山再生計画推進協議会長等を務める。

発表概要 2021年6月、長野県は全国の都道府県に先がけて、2030年の時点で温室効果ガス排出量を2010年に比べて60%削減するという先進的な長野県ゼロカーボン戦略を策定しました。2050年のゼロカーボン実現に向けて最終消費エネルギー量を7割削減し、再生可能エネルギーを3倍に増やすという難題に、どのように取り組めばよいでしょうか。カギはエネルギーの効率化と再生エネへの転換を、地域課題の解決と組み合わせることで、暮らしをもっと豊かにしようとする活動の中にあることを解説します。



おつぎ りょうすけ 大槻 亮輔 さん

戸倉上山田商工会
主任経営支援員

経歴 1989年朝日村生まれ。大学卒業後、食品卸会社を経て、長野市商工会に勤務。2019年より戸倉上山田商工会へ異動し、現在に至る。経営改善、財務、労務など経営全般についての相談対応に従事している。長女、次女の2児の父でもあり、子育てに奮闘中。

発表概要 数年前、商工会では、クリーンエネルギーに注目し「電気自動車」を2台製作しました。これを契機に、地域ぐるみで脱炭素化を目指す戸倉上山田商工会のゼロカーボンチャレンジ事業を展開しています。経営支援という側面からゼロカーボンを考えていきます。

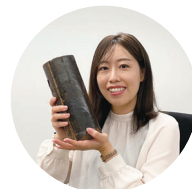


むらかみ あやか 村上 文香 さん

長野市新産業創造推進局
バイオマス推進チーム

経歴 信州大学を卒業後、2015年度に長野市役所に入庁し、現在は新産業創造推進局 バイオマス推進チームにて、未利用バイオマス(おがくずやきのご廃棄地等)や資源作物ソルガムのエネルギー活用等を担当。

発表概要 2050ゼロカーボンを目指す中、長野市が、信州大学、民間事業者等と共に推進する、食べることで脱炭素に貢献できる「ソルガム」の利活用事業等を発表します。ソルガムは、日本名を「たかかび」と言い、室町時代から日本で栽培されてきた穀物です。省力栽培が可能で、子実はアレルゲンフリーでグルテンフリー、GABAやポリフェノールを多く含む健康食品として活用できるほか、茎葉はバイオマス燃料として脱炭素に貢献できます。その他、新産業創造推進局で行っているフードロス事業も併せて紹介します。



とよやま たつゆき 遠山 健幸 さん

上水内郡飯綱町在住

経歴 1972年長野県下伊那郡天龍村生まれ。長野高専、信州大学を経て1995年に長野市役所入庁。2007年、子供の誕生を期に豊かな自然を求めて飯綱町へ移住。自宅前の畑で野菜作りに精を出す傍ら、地区の野生動物による農作物被害を減らすため、数年前にわな免許を取得して有害鳥獣駆除の活動に従事。毎朝のわなの見回りが日課になっている。趣味はスノーボードやサーフィン、ジャンベ、キャンプなど多彩。

発表概要 2011年に自宅に太陽光パネル(7.5Kw)を設置。降雪量が多い地域であり、また西向き屋根勾配のため発電効率が良いとはいえない環境です。冬は屋根に上ってパネルの雪降ろしをするなどしながら生活に活用しています。ご近所などの事例から、降雪地における戸建て住宅への太陽光パネル導入の可能性について、ユーザーの立場から語ります。



おたぎり ななこ 小田切 奈々子 さん

NPO法人まめってえ鬼無里 理事
自然エネルギー長野北信地域協議会 理事

経歴 2009年に東京から長野市に移住。長野県と連携した「自然エネルギー信州ネット」事務局コーディネーターとして2017年まで従事。現在は長野市鬼無里をフィールドとして活動。

発表概要 高齢化・過疎化が進む長野市鬼無里(きなき)地域にて、太陽光発電所と薪ステーションを自分たちの手で立ち上げ、エネルギーの地産地消に取り組んでいます。遊休農地や空き家を活用した「化石燃料に依存しすぎない里山ならではの暮らし」を楽しみながら次世代につなぐ活動をしています。



ふるき りな 古木 里菜 さん

小布施町ゼロウェイスト推進員
小布施町地域おこし協力隊

経歴 茨城県石岡市出身。小布施町地域おこし協力隊3年目。東京でのコロナ禍生活によりごみ削減に目覚める。独学で自宅のごみ削減(ゼロウェイスト)に取り組む個人でできる範囲に限られていることに気付く。その後勤めていた会社を退社し、小布施町での活動を決意。現在は主に食料残渣の資源化に取り組む。

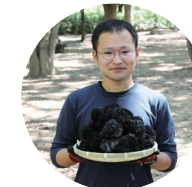


にしの りゅうすけ 西野 竜介 さん

小布施町地域おこし協力隊

経歴 兵庫県神戸市灘区出身。小布施町地域おこし協力隊1年目。ミッションは木質資源の利活用。信州大学工学部在学中、信州の豊かな水資源に触れるうちに環境問題に興味を持つ。小布施町の新しい試みに挑み続ける精神に惹かれ、移住を決断。現在は、主に町内の剪定枝や栗イガを炭化する取組を推進している。

発表概要 地域おこし協力隊として小布施町へ移住するに至るまでの経緯や、生ごみたい肥化などのゼロ・ウェイストの取組、バイオ炭活動についてご紹介します。



たかはし りく 高橋 莉玖 さん

わたなべ ななこ
渡邊 なの子 さん

岡学園トータルデザイン
アカデミー

ファッション科
ファッション
クリエイターコース2年

学校紹介 岡学園トータルデザインアカデミーは第1期から長野県SDGs推進企業として登録された専門学校です。これまででも多くのSDGs×デザインの活動を行っており、校長自ら立ち上げたエコロジーブランド[ECOMACO]はとうもろこし由来の原料で作られた、生分解性の糸を主にサステナブルなファッションブランドを展開しています。学生たちとゼロカーボンでの取組も多く、本年度は産学連携プロジェクトとしてながの東急百貨店と、ファッション・アパレルのサステナビリティを考える取組を実施してきました。不要となった衣料品や布製品のアップサイクルを通してゼロカーボンにつながる企画を行っています。

発表概要 ファッションを専門に学ぶクリエイターコース2年生の学生が参加し、アパレル・ファッション分野からの「ゼロカーボン」提案を行います。



主催者 長野県長野地域振興局 (環境・廃棄物対策課)

問合せ先・運営事務局 特定非営利活動(NPO)法人 CO2バンク推進機構

共催 長野地域連携中枢都市圏 (長野市、須坂市、千曲市、坂城町、小布施町、高山村、信濃町、小川村、飯綱町)
豊かな環境づくり長野地域会議 / 自然エネルギー長野北信地域協議会